

# 東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・デザイン	科目：	産業技術基礎	単位数：	3	指導学年：	1
使用教科書	自作教材、プリント等を使用		副教材				

年間指導目標：

- 1、産業、工業、工芸製品制作に必要な、デザイン全般の基礎、基本を習得する。
- 2、産業、工業、工芸製品を制作する過程において機能、用途を含めたデザイン性を高める。
- 3、デザインへの興味関心を深め、広く社会に役に立つ製品制作が出来る能力を身につける。

	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
評価規準	デザイン活動が産業社会においてどのような役割を果たしているか理解し、社会に必要な技術の基礎・基本を身につける。	デザイン分野の現場で従事するために必要な技術・技能を確実に習得する。作品制作にあたり、創意工夫し丁寧に取り組む。プレゼンテーション能力を身につける。	実際に活用できるデザイン力と客観性を身につけ、積極的に社会と関わりながら取り組む力を身につける。提出期限を守る。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面構成 用具理解するための課題</li> <li>立体構成 紙による立体制作(基礎)</li> <li>デッサン 鉛筆の使い方 基礎的描画法</li> </ul>	(知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各用具の理解と、デザイン基礎技法の修得</li> <li>用具や素材の特性の理解と、基礎造形</li> <li>素描の用具と基礎技法の理解</li> </ul>		○		○	○	18
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の応用と、制作プロセスの理解</li> <li>基礎的構成法と作品への応用力</li> <li>陰影表現の理解と描写</li> </ul>		○		○	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限内に課題提出の条件を満たしている。</li> <li>安全に道具を使用して仕上げている。</li> <li>取組が作品の完成度に反映している。</li> </ul>				○	○	
1 学期	期末 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面構成 線と面による構成</li> <li>立体構成 紙による立体制作(応用)</li> <li>デッサン 素描の画面構成 透視図法の基礎</li> </ul>	(知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面構成と配色基礎の理解</li> <li>紙の特性理解と応用的造形</li> <li>透視図法の基礎と描画技法</li> </ul>		○		○	○	18
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> <li>線や幾何形体などの指定条件を生かしている。</li> <li>紙の特性をアイデアに活かして造形できる。</li> <li>オブジェクトを透視図法を用いて描画できる。</li> </ul>		○		○	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限内に課題提出の条件を満たしている。</li> <li>安全に道具を使用して仕上げている。</li> <li>取組が作品の完成度に反映している。</li> </ul>				○	○	

2 学 期	中 間 考 査	・平面構成 イメージ構成	(知)	・色と形をイメージに合わせる発想技術 ・様々な質感の理解と表現力 ・複数のオブジェクトを用いた透視図法表現				○	○	○	24
		・立体構成 マチエール研究	(思)	・イメージに対して配色と構成を活かせる。 ・マチエールを発想で自由に変える事ができる。 ・より複雑な形態を図法を用いて描画できる。				○	○	○	
		・デッサン 透視図法の応用 複数のオブジェクト	(態)	・提出期限内に課題提出の条件を満たしている。 ・安全に道具を使用して仕上げている。 ・取組が作品の完成度に反映している。					○	○	
2 学 期	期 末 考 査	・平面構成 イメージ構成	(知)	・より複雑な配色技術の理解 ・紙立体の質感を活かす造形 ・図法に則った描画と陰影や質感の表現				○	○	○	24
		・立体構成 マチエール研究	(思)	・構成を駆使した複雑なイメージ配色 ・個性ある質感を立体物に活かす発想力 ・複雑なオブジェクトを描き分ける描画力				○	○	○	
		・デッサン 透視図法の応用 複数のオブジェクト	(態)	・提出期限内に課題提出の条件を満たしている。 ・安全に道具を使用して仕上げている。 ・取組が作品の完成度に反映している。					○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	・平面構成 色彩構成(応用)	(知)	・色彩構成の基礎的応用力 ・立体表現の応用法 ・石膏像などの複雑なオブジェクト描画				○	○	○	33
		・立体構成 立体材料の応用	(思)	・イメージを色彩と構成で伝える事ができる。 ・立体造形での構成法と造形表現を理解している。 ・複雑な形状のオブジェクトを描画表現できる。				○	○	○	
		・デッサン 石膏像等	(態)	・提出期限内に課題提出の条件を満たしている。 ・安全に道具を使用して仕上げている。 ・取組が作品の完成度に反映している。					○	○	
合計										117	